

---

## 平成24年度区民会議交流会報告

---

平成25年3月

市民・こども局区政推進部区調整課



## ◆ 目次

1	開催概要	2
2	市長講話「区民会議について」の概要	3
3	7区委員の交流～区民会議の認知度向上について～ 意見交換の内容	15
4	アンケート結果	21
5	参考資料	25
	地域情報紙（タウンニュース）掲載記事	
	当日配付資料	



## 1 開催概要

各区の委員が集まり、互いに取組状況や運営方法の情報交換を行うとともに、相互の連携を深めることで今後の区民会議の発展につなげることを目的に7区の区民会議交流会を開催しました。

### 日時

平成25年2月14日（木） 18時00分～19時30分

### 会場

中原区役所5階会議室

### 参加者

〔委員〕70名

川崎区（9名）、幸区（10名）、中原区（18名）、高津区（7名）、  
宮前区（7名）、多摩区（9名）、麻生区（10名）

〔行政〕33名

市長、各区長（7名）、各区企画課長（7名）、各区企画課担当係長（7名）、  
市民・こども局長、市民・こども局区政推進部長  
（事務局）市民・こども局区政推進部区調整課（9名）

〔傍聴者〕13名（行政関係者）

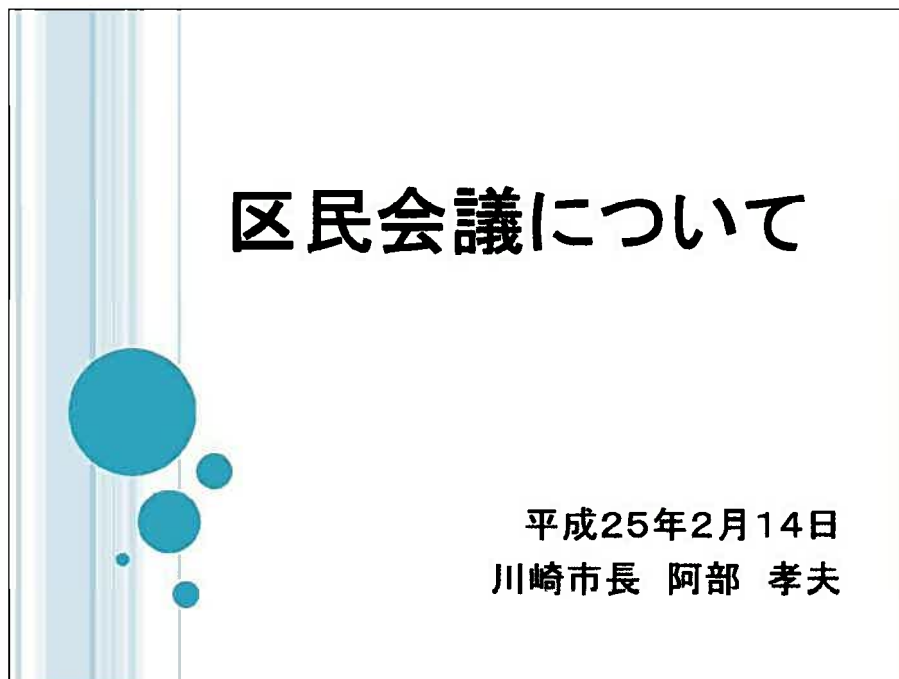
〔報道〕1社（タウンニュース）

### 内容

- 1 開会の挨拶 〔阿部孝夫 市長〕
- 2 市長講話「区民会議について」 〔阿部孝夫 市長〕
- 3 7区委員の交流  
～区民会議の認知度向上について～
- 4 閉会の挨拶 〔山崎茂 市民・こども局長〕



## 2 市長講話「区民会議について」の概要



### 01. ●表紙

この記録は、市長講話における発言内容を整理した上で作成しています。



## 本日お話しすること

- 1 区民会議の目的
- 2 区民会議設置の背景
- 3 これまでの区民会議を振り返って
- 4 地方分権改革とこれからの区役所
- 5 地方分権改革における区民会議の役割
- 6 区民会議委員の皆様への期待



### 02. ●開会の挨拶

#### ➤第4期運営への感謝

- ・区民会議の委員をお引き受けいただき、心から感謝申し上げます。
- ・これまで3期6年間やってきたが、今後とも区民会議を充実していきたいので、よろしくお願ひしたい。

#### ➤本日の講話の概要

- ・今日は区民会議について全体的な御理解を深めていただくために、最初に制度の趣旨等についてお話ししたい。

## 区民会議の目的

**区民の参加と協働による区における地域社会の課題解決に向けた調査審議を行い、もって暮らしやすい地域社会の形成に資すること**

**(区民会議条例第1条)**

＜市政運営の3本柱＞

- ・ 行財政改革の取組
- ・ 総合計画の着実な推進
- ・ 自治基本条例に基づく市民本位のまちづくり
  - 市民の暮らしやすい地域社会を実現していくためには、自助・共助・公助の適切な役割分担のもと、市民自治に基づくまちづくりを進めていくことが必要。

それぞれの区に区民によって構成される会議(「区民会議」)を設け、参加及び協働による区における課題の解決を目的として調査審議します。

(自治基本条例第22条)

3

### 03. ●区民会議の目的

▶市政運営の3本柱

- 1 行財政改革の取組
- 2 総合計画の着実な推進
- 3 自治基本条例に基づく市民本位のまちづくり

・少子高齢化・人口減少社会において、経済は低迷し税収は減少する。一方で、行政需要は伸びていく。

・そのような社会においては、自助・共助・公助のバランスのとれた地域づくりが大事であり、経験や知識が豊富な地域人材が増える社会になることが望ましい。

・その核となる考え方が、「自治基本条例に基づく市民本位のまちづくり」であり、地域の皆さんに身近な課題を自ら解決してもらう仕組みを構築した。

▶自治基本条例第22条を根拠とする、「区民会議条例（平成18年4月施行）」に基づき設置

▶暮らしやすい地域社会の形成へ

→区民の参加と協働による区における地域社会の課題解決に向けた調査審議を行う（区民会議条例第1条）

## 区民会議設置の背景

### 経過

- 平成16年12月  
「川崎市基本構想」「自治基本条例」制定
- 平成17年4月  
「自治基本条例」施行、区民会議の試行
- 平成18年4月  
「区民会議条例」施行  
各区で定める運営要綱の制定  
「区民会議」の設置・運営

4

#### 04. ●区民会議設置の背景

- ▶平成16年 「川崎市基本構想」制定、「自治基本条例」制定  
(背景)
  - ・高度経済成長の終えん
  - ・本格的な少子高齢化社会の到来  
→川崎市は、持続可能なまちづくりの実現に向けて果敢にチャレンジしていく。
- ▶平成17年4月 「自治基本条例」施行
  - ・第22条に「区民会議」の位置付け
- ▶同年7月 区民会議試行
- ▶平成18年4月 「区民会議条例」施行
  - ・各区単位で要綱を定めて、区民会議の運営に取り組んでいるところ。



これまでの区民会議を振り返って	
時期	主な審議課題
第1期 (平成18～19年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●地域で取り組む環境対策</li> <li>●高齢者福祉・健康づくり</li> <li>●こどもの外遊び</li> <li>●地元農産物と地域の交流 など</li> </ul>
第2期 (平成20～21年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●地球環境とエコ</li> <li>●自転車通行のマナー向上</li> <li>●地域防災とコミュニティ</li> <li>●公園を活用した地域コミュニティの活性化 など</li> </ul>
第3期 (平成22～23年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●公園を活用したコミュニティづくり</li> <li>●地域における子育て応援体制づくり</li> <li>●循環型のまち・生ごみリサイクル など</li> </ul>

#### 05. ●これまでの区民会議を振り返って

・設置当初は、「市民の代表が意見を言う会議なのに、委員の選び方がおかしい」という意見もあったが、この区民会議は、ただ単に代表の方が意見を言って、それを行政にやらせるというものではないことをまず御理解いただき、委員の皆さんには、区単位で自らできるものに力点を置いて調査審議していただきたい。

・当初は、行政に物申す方、ただ発言するだけの方が少なくなかったが、最近では、提案を実現させるという考え方がしっかり定着し、浸透してきたと感じている。

・そして、皆さんでできないことは、区役所なり議員を通じて意見を言っていただきたい。それを行政が受け止め、実行していくこともあり得るし、また、それが協働事業として区単位で区民会議の活動と連携して実現していくこともあり得ると考えている。

・「2年単位で期が変わるのは、期間が短か過ぎる」という御意見もいただくので、その点については、今後、十分に議論していくことも必要だと思っている。

・皆さんが話し合ったことが、区の全体に広がるには相当時間がかかるだろう。中には10年たっても実現しないものもあると思うが、それらは常に地域の課題である。したがって、新しい委員だから新しい課題を設定しなければならない、前の期で設定した課題と違うものを見つけなくてはならない、という考えは捨てていただきたい。

・区民会議で提案したことを、どこかの団体が中心になり、地域で実行していただき、またそれが、地域の課題解決のモデルとなる。1期目で設定した課題を2期目でどのように実現できるかを考えながら、足りない課題を新たに発見し、つなげていくことが大事であると考えている。

・ゆえに、委員の選び方も、選挙で選ぶ、単に抽選で選ぶということではなく、それぞれ現場に力を持っている人を中心に選ぶ、区民会議で決めたことを自分の組織に持ち帰って実行できるような方を選んでいただく、という考えで行っている。

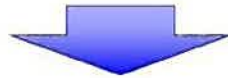
・したがって、区民会議の提案が何らかの形で地域につながることを、検討結果を組織に持ち帰っていただくこと、が目的なので、必ずしも組織の代表者を委員として推薦していただく必要はなく、委員となられた方が、区民会議で決定したことを組織に持ち帰り、組織の中で相談しながら提案を実現していただくことが大事であると考えている。

・団体推薦・公募・区長推薦、それぞれの委員のバランスを上手くとって、皆さんの長所を持ち寄って話し合いながら区民会議を進めていただきたい。

## 区民会議の課題①

### ・区民会議の認知度を向上させること

- ただ区民会議の名前を知ってもらっただけでなく、調査審議の内容も知ってもらわなければならない
- 知ってもらった後、活動に協力してもらうことができるか



### ★大事なことは・・・

- ・市民参加の基本は「情報共有」。より多くの人に区民会議を覚えてもらうこと
- ・地道な広報活動を継続することにより、取組を地域に浸透させ、取組の担い手を増やすこと

## 06. ●区民会議の課題①

### ▶区民会議の認知度を向上させること

- ・区民会議の存在自体の認知度向上、調査審議された内容についての認知度向上が必要
- ・取組の担い手の拡大、取組を地域へ浸透させることが大事
  
- ・区民会議は公選制でないため、区民会議そのものを宣伝することにはあまりお金をかけていない。したがって、市民の知名度は20%ほどであるが、もっと認知される必要がある。
- ・なんとか認知してもらえるように、区民会議単位で、あるいは区民会議委員の皆さんが地域に入り区民の方に周知を図る、または地域の方々に御意見をいただく形で周知を図る、リーフレットを作って配る、など努力していただいているところである。
- ・多くの方に区民会議を認知していただくには、区民会議がより機能し、問題の解決に向けた取組が地域で大きく広がるよう、実績を積み重ねること以外にはないと思っている。
- ・例えば、子育て支援、高齢者の見守りなど、市民の皆さんが日頃から不満を持っていることに対し区民会議が取り組んで実績をあげることによって、区民会議からは良いことが出てくる、と知ってもらえることになる。
- ・行政の目は粗く、上手くいかないことも多いので、自分たちの目線で日常的な地域課題の解決を図っていただくことが非常に大事。
- ・ただ単に区民会議の名前を知ってもらっただけでなく、調査審議の内容を知ってもらうことにより、取組を地域での実行に移した時に、多くの方に協力してもらい、問題の解決につなげることが大事である、ということをお理解いただきたい。
- ・市民参加の基本は「情報共有」。多くの方に課題を知ってもらい、多くの方に参加してもらおう。そして課題解決につなげていくことをぜひお願いしたい。
- ・また、委員の皆さんには、区民会議で話し合われた課題を地域に持ち帰り、実際に取り組むこと、仲間をできるだけ増やしていくことをお願いしたい。

## 区民会議の課題②

### ・ 区民会議から提案された取組に実効性をもたせること

- ただ審議して、課題解決策を提案するだけでは、地域主体の取組にはつながらない
- 既存の地域団体の理解・協力を得ることができるか



### ★大事なことは・・・

- ・常に担い手を意識しながら審議すること
- ・担い手になりうる団体を巻き込みながら審議し、地域主体の取組につなげること

## 07. ●区民会議の課題②

### ➤区民会議から提案された取組に実効性を持たせること

- ・提案のみで終わるのではなく、地域主体の取組へ
- ・担い手を意識した審議を行い、地域における実践へつなげることが大事

・区民会議でできないことは、行政や議員にお願いし、区単位または市全体での取組につないでいただきたい。議員さん方が「参与」として区民会議に入っているのは、そのためである。

・地域主体の取組のためには、地域団体の理解・協力を得ることが大事であることから、既存の団体の方にも委員になってもらっている。

・常に、担い手になりうる団体を巻き込みながら審議し、区民会議の提案を地域主体の取組につなげていただきたい。

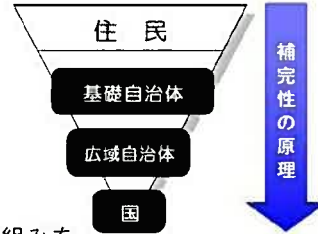
・もし、地域になかなか協力してもらえない団体があれば、その団体から区民会議委員の仲間に入ってもらうなど、仲間を増やしていくことが大事である。

## 地方分権改革とこれからの区役所①

### 地方分権の基本となる考え方

補完性の原理に則り、住民に身近な行政サービス（公共）は、住民に最も身近な基礎自治体がまずは担うことが必要

地域の実情を最も把握している基礎自治体は、地域の課題を的確に捉え、施策に反映するとともに、効果的・効率的に解決することなどが可能



基礎自治体の自主性・自立性を高め、分権型の仕組みを構築することが重要

- 基礎自治体への事務権限の移譲
- 義務付け・枠付けの廃止・縮小
- 税源の移譲(担う役割に見合う財源の確保)

## 08. ●地方分権改革とこれからの区役所①

### ▶地方分権の基本となる考え方

→国家システムの制度疲労と社会状況の変化、補完性の原理（基礎自治体中心の改革）、現行の地方自治法下の政令指定都市における取組としての都市内分権

・日本は、明治時代以降、全国一律の近代化を図ってきた。近年では科学技術が発達し、地域社会においてある程度の行政サービスが整ってきたが、一方で、国が対応できないような複雑・多様な課題、新たな課題が増えてきた。

・先進国となった日本では、今後、世界の最先端の問題が地域社会から起こってくるだろう。例えば、超高齢化社会の問題は、国からではなく、まず地域社会から始まり、そこで先行的に扱われ、国全体への問題へと広がっていく。かつての公害問題がそうであり、川崎はそれを経験してきている。

・地方分権は、できるだけ市民に近いところで問題を取り上げ、地域社会で課題解決のための取組の実例を作り、解決していく仕組みを国全体で作る必要がある。場合によっては、それが今後の国際社会のモデルとなるだろう。また、それに対応するように市民の自治に対する意識も高まっていくと考えている。

・川崎市の人口は約144万人。1つの区の人口も、地方の都市であれば県庁所在地として独立するほどの非常に大きい都市であるが、だからといってそれに合わせて行政組織等を整備するというのではなく、川崎市における地方分権、人口20万人の行政区単位での仕組みを作り、対応していけばよいと考えている。

### ▶求められる区役所の自立的な自治とは

・市役所内の分権として、区役所に権限を移譲し、区長権限を強くし、市と区の連携事業の展開を図っている。

・区役所単位で予算配分している地域課題対応事業費を地域の問題解決に活用していただきたい。もっと大きな全市的な課題解決には、本庁で予算計上し、それを各区に配分している。区民会議でより問題解決に取り組んでいただくと、もう少し各区単位で予算を配分できると思うので、区単位、区民中心の地域課題の解決を皆さんに実現していただきたい。



## 地方分権改革とこれからの区役所②

- 行政区の特性を最大限に生かし、住民自治の充実を図る。
- 市民に最も身近な区役所は、利便性の高い快適な窓口サービスの提供に加え、**地域の課題を自ら発見し解決できる市民協働の拠点**として総合的な行政機関の役割を担う。

### ① 区民会議の運営

- 各区において調査審議を実施



### ② 協働事業・市民活動支援

- 協働型事業のルール（6つの原則）
- 各区での市民提案型事業の推進
- 市民活動の場の提供、資金の確保 など

### ③ 区役所の機能強化

- 区長権限の強化
- 地域の課題に対応するための予算（地域課題対応事業費）
- 総合的なことも支援拠点として整備
- 区役所道路公園センターの設置 など

## 09. ●地方分権改革とこれからの区役所②

▶区役所を市民協働の拠点として位置付け、これからもその取組を進めていく

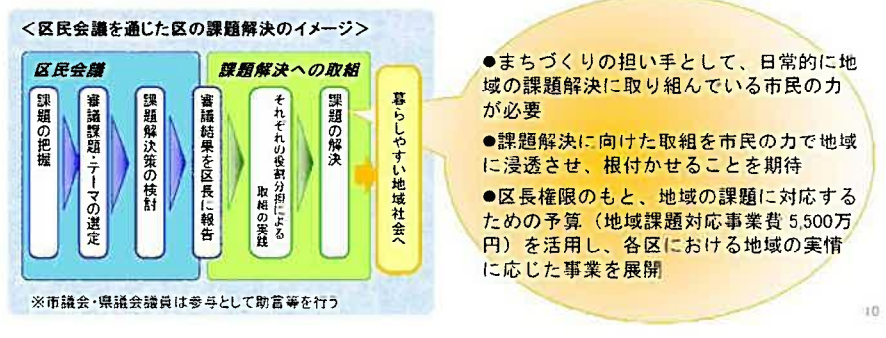
- (1) 区民会議の運営
- (2) 協働事業・市民活動支援（協働型事業のルール制定等）
- (3) 区役所機能の強化
  - ・区長権限の強化（予算権限の付与、議会出席）
  - ・地域の実情に応じた課題に対応するための予算配分
  - ・子ども支援の体制整備
  - ・身近な道路・公園の管理体制の整備

・区民会議で問題解決していくと同時に、区役所も地域の問題を解決できるよう整備している。区民会議でいただく意見が区の行政推進にも非常に大きな意味を持つようになっている。

・川崎市では、産業振興における成長戦略として3つのイノベーション（ライフイノベーション、グリーンイノベーション、ウェルフェアイノベーション）を積極的に推進している。こうした取組を進めていくことにより、少子高齢化が進んでも高齢者が自立した生活をおくることが可能なまちになり、また、これらを本市の産業としておくことにより、いずれ同じように高齢化が進む他諸国に売れるようなことも見込んでいる。このように川崎市の産業がずっと発展し続けるための基盤を作りながら、市民生活を豊かにしていくまちづくりを進めている。

## 地方分権改革における区民会議の役割

- 地方分権改革の進展により、区役所が果たすべき役割はさらに重要に。
- 区民会議は、区における「市民本位のまちづくり」の中核的仕組みとして、**区民の参加・協働による地域社会の課題解決に向け、調査・審議を行うことを期待されている。**



### 10. ●地方分権改革における区民会議の役割

➤地方分権改革の進展（域内分権）に伴う区役所が果たすべき役割の重要性

➤市民自治に基づくまちづくり

→暮らしやすい地域社会を実現させるための自助・共助・公助の適切な役割分担

➤市民本位のまちづくりの手段となる区民会議の意義

・委員の皆さんにも御尽力いただき、区民の皆さんが自らの地域社会を自らが考えるような姿に持っていく努力をしていただきたい。

・そのために、皆さんのこれまでの色々な経験や知識をぜひ使っていただきたいと思う。

・これからの社会は、さらに少子高齢化が進み、より地域の問題が大きくなる。今だけの問題ではなく、その時にも対応できるような自分たちのまちづくりを進めていただきたい。

## 区民会議委員の皆様にご期待すること

～暮らしやすい地域社会の実現に向けて～  
地域で果たす区民会議の役割は、一歩前進した  
段階へ



小さな取組の輪を広げて大きな取組の  
輪に。市全体の課題の解決へ。

### ★区民会議委員として…

- ・区民会議で提案された取組を地域に持ち帰り、実践活動につなげ、地域に根付かせること
- ・ひとりひとりが区民会議の広報マン。より多くの市民に区民会議を知ってもらうため、工夫しながら地道な広報活動が続けること

11

## 11. ●区民会議委員の皆様にご期待すること

▶第4期を迎え、区民会議の役割は一歩前進した段階へきている。

・区民会議委員として、ぜひ、区民会議で提案された取組を地域に持ち帰り、実践活動につなげ、地域に根付かせる努力をしていただきたい。

・ひとりひとりが区民会議の広報マンとして、より多くの市民に区民会議を知ってもらうため、工夫しながら地道な広報活動も進めていただきたい。区民会議の取組が活発になることにより、認知度が向上し、そのことにより地域における課題解決の担い手も増えていくことを期待している。

・繰り返しの話しになるが、区民会議の課題の選択については、前の期の人たちと違うことをやらなければ自分たちがやる意義がないとは考えずに、区全体にその課題解決の手法が広がるまで、何度でも同じ課題を選択し、継続して取り組んでいただきたい。

・期ごとに委員を変えるということは、より多くの方に「情報共有」していただくという効果もある。ぜひ、それぞれの期ごとに継続性のある取組を進めていただきたい。

御清聴ありがとうございました。



阿部市長から区民会議のあり方や区民会議への思い、委員の皆様への期待などをお話いただきました。



### 3 7区委員の交流 ～区民会議の認知度向上について～ 意見交換の内容

7区委員の交流では、交流会に参加した委員全員が8グループに分かれ、「区民会議の認知度向上について」をテーマに、約50分間の意見交換を行いました。

各グループにおいて、認知度向上の現状や課題、取組に関する意見やアイデアなど大変多くの意見が交わされましたので、次のとおり紹介します。

#### 1. 認知度向上の取組（現状）

##### 【広報】

- ・区民会議ニュースの発行（4件）
- ・区民会議ニュースを町内会・自治会で回覧している。
- ・区民会議ニュースを活用し、区民会議の取組だけでなく、区制40周年の行事等も含め情報発信した。
- ・第4期では区民会議だよりにより委員の写真を掲載した。区民が関心を持ってきて、声を掛けやすくなったとの反応があった。
- ・区民会議ニュースの裏面を区民からの意見欄にした。
- ・区民会議ニュースや、ホームページ等に連絡先を掲載し、区民からの意見をメールやファックスでいつでも受けられるようにしている。
- ・町内会回覧やホームページ、ポータルサイトなどを使って広報している。
- ・区民会議がいつ開かれるか良くわからないことが、傍聴者が少ない原因。部会の日程を毎月第2火曜日というように決め、全体会議も予め年間の日程を決定しホームページで公開している。
- ・タウン誌に区民会議の取組内容の掲載について依頼した結果、毎月掲載（写真を含め350～500文字）してもらえるようになった。
- ・区民会議からの働きかけで、今期に入ってマイタウンなどメディア3社の活用を始めた。
- ・最近、自分の区以外の区のタウン誌にも、区民会議の内容が掲載されている。
- ・区民会議の活動を認知してもらう必要がある。いい活動をすればアピールになる。地域メディアに委員が交渉に行き、イベントなどがあれば記事にしてくれることになった。
- ・区民会議フォーラムの開催
- ・フォーラムや報告会をやっても人が集まらない。
- ・市民報告会で学校や企業を巻き込み、集客を図った。

##### 【取組の実践】

- ・区民会議の取組が見える形にすることが重要（6件 内容は以下のとおり）
  - ・川崎区では、区制40周年を記念し制定した区の花・木を印刷したクリアファイル等を作成してPRしたほか、区民向けの防災施設見学会を開催するなど、区民会議を身近に感じてもらう取組を実施した。
  - ・幸区が取り組んでいる夢見ヶ崎公園整備は、区民会議での提言がきっかけとなっている。
  - ・自転車との共生を審議した結果、駐輪場が整備されるなど駅前がきれいになった。目に見える形での区民会議の成果であり、認知度の向上につながっていると感じる。

- ・区民会議で審議した子育て支援については、地域課題対応事業費で実施され、同事業費の10分の3程度が支出されている。
- ・区民会議で取り組んでいる防災について、区役所1階にある防災コーナーを活用し、区民会議のPRも含め情報発信している。
- ・皆さんの意見を聞いて、目に見える形にすることが重要で、そのことが認知度の向上につながると感じた。
- ・子育てサロンなどの世代間交流の取組を通じて、区民会議のことを知っていただいている。
- ・小地域単位での区民会議主催の交流事業を実施している。少しずつ定着してきている。
- ・中学生への働きかけが大事。ごみ減量の啓発を小中学校に働きかけてみんなで動こうと区民祭等のイベントに参加してPRした。
- ・行動する区民会議としてやっている。机上では意味がないので啓発用ジャンパーや旗を作成した。(2件)
- ・実行あるべき。区民会議の成果物として、区を知ってもらうカルタ、区に多い坂を魅力にとらえた坂道ウォーク、転入者向けの冊子を作成した。(ウォークラリーを開催し、区民会議提案の坂道ウォークやカルタを体験してもらう。)(3件)
- ・区制40周年事業として花の種を配布する際、「区民会議提案事業」と明記し、植え方講習会でも区民会議提案事業であることをアピールした。
- ・区の花・区の木に区民会議提案の一文を入れたことで知られるようになった。
- ・全委員の名刺を作成して、地域の団体や展示会に行ったときに配布している。委員は公人なのだから、使命感を持って行動すべき。
- ・区内には子育て世代が多いため、子どもの健康診断の日に区民会議のイベントを設定し、健康診断が終わったら、そのままイベントに寄っていただけるような工夫をしている。
- ・第3期で検討したことを具体的に実行している。
- ・期をまたいだ取組も必要。防災関係は2期から4期まで継続して取り組んでいる。今後も継続した取組をしていきたい。(2件)

#### 【その他】

- ・今期の区民会議では、民生委員、保護司、警察関係、消防関係といった横の情報を橋渡しできる役割を担えればと思い災害のことを区民会議で取り上げるなど、様々な組織の方の情報交換の場についての企画を検討している段階である。これから実行に移していくところであるが、この取組が区民会議の存在を知ってもらえるきっかけやよい機会になればと思っている。
- ・区内で独自に認知度調査を行った結果、やはり20%弱であったが、表面的な数字に捉われるだけではなく、回答内容の分析を行った。
- ・第4期から参加したが、それまでは区民会議を知らなかった。

## 2. 認知度向上の取組に関する課題

### 【団体との関わり】

- ・区民会議の認知度は低いということを実感している。選出団体に審議結果を持ち帰っても、内容を受けとめてもらえる環境にない。各団体はそれぞれの活動だけでも多忙である。区民会議が置きざりにされている感がある。(2件)

### 【広報】

- ・（私の住んでいる町内会では）市政だよりは町内会加入世帯にしか配布されていない。加入率も低く、未加入世帯にどう情報を届けるかが課題。マンションなどはどういう状況なのか気になる。（2件）
- ・町内会回覧は一度に回覧されるチラシも多く、区民会議の広報誌を回覧してもどの程度見ていただいているか疑問である。
- ・チラシの全戸回覧ではなかなか伝わらない。
- ・区民会議だより等の広報誌に工夫を凝らすことは大切であるが、配布先を間違えるとゴミになってしまうので、ただ作成するだけではなく配布先等の検討を踏まえた効果的な配布が必要である。
- ・広報について各区とも努力しているが、区役所から外に発信しているだけのようにも感じる。
- ・ホームページは面白くないので浸透しない。面白いと感じられるような工夫が必要である。
- ・区民会議の提言を受けて実行しているプロジェクトや区民会議の関わりの中で解決した問題もある。しかし、そこに携わっている人でさえ、区民会議発の取組だということを知らない人が多い。もっと自分たちの取組をPRしてよいのでは。（2件）
- ・市民に必要なと思われているから関心が集まらないのではないかと。必要性を感じてもらえれば、認知度は上がるはずである。
- ・認知度が上がらないなら、存在価値が下がってしまう。

### 【取組の実践】

- ・参加委員の意見を総括すると、区民会議の認知度向上にあたっては、区民会議の名称だけでなく、取組を知ってもらう必要があり、そのためには、目に見える形にすることが重要という意見が多かったことから、どのように区民会議の取組を実現させていくかが課題であると考える。
- ・区民会議は、町内会・自治会へのルート（認知度）が整っていないように感じる。町内会等をもっと巻き込んでいくべきである。（2件）
- ・団体間のつながりの持ち方をどうすべきか。どこが中心となるかが問題。
- ・若い世代を巻き込みたいが、忙しい方が多く、なかなか実行できない。
- ・区民会議の提案書は立派だが、それを誰がどう実行するかがない。
- ・委員個人が何に取り組みたいか、どう取り組むかをしっかり考えることが必要。
- ・認知度向上は、まちづくりの担い手となる「人財」を発掘する意味でも重要な課題である。
- ・事業の実施にあたっては、区役所の名前がないと広がりにくい。

### 【その他】

- ・友人に区民会議のことを話しても「すごいね」と言われるだけ。自分とは関係ないことと思われている。
- ・区民会議委員がどのように選ばれているかについて、ほとんど知られていない。
- ・「区民会議」という名称が市民に伝わりにくい。「文化・芸術のまちづくり」などはイメージしやすいが、「区民会議」という名称は何をやっているのかイメージしにくいという課題がある。（2件）
- ・「区民会議」という名称ながら、区民との間に壁があるような気がしている。
- ・区民会議は、上の方の人が集まっている印象があり、傍聴に来ないのでは。

- ・傍聴に来てても会議がつまらない。発表の工夫が必要である。
- ・参加がほとんど来ない。議員は様々な人に知っていることをしゃべるので来てほしい。  
⇒議員に直接働きかけるべき。

### 3. 認知度向上の取組に関する意見やアイデア等

#### 【団体との関わり】

- ・区民会議委員が所属する団体でまず知ってもらうことが必要である。
- ・推薦団体として区民会議に対してどのように考えているか、また、推薦団体に区民会議の報告を実施しているか。同様に、報告のほか、推薦団体が区民会議テーマを議論しているか。
- ・地域の町会420世帯に情報を伝えている。委員の任期が短い中で課題解決を図らなければならないことから、地元での協力（効果的に実践）を得る上で報告は必要である。
- ・町内会への浸透の話があったが、町内会連合会の会合の中で区民会議の話を繰り返し行なっていくことで、各町内会への浸透も進むのではないかと。広報誌なども大切であると思うが、もっと地域や町内会を巻き込んでいくことが大切である。
- ・団体に持ち帰って議論を行うと、新たな課題テーマになってしまうこともある。
- ・各団体の広報誌で区民会議の活動を取り上げてもらってはどうか。

#### 【広報】

- ・区民会議だより・ニュースは回覧ではなく、各戸配布にすれば認知度が上がる。（2件）
- ・区民会議の広報誌も、区民会議の活動をお知らせする内容だけではなく、トピックス的な情報（防災情報など）を発信するようにしたら良い。
- ・区民会議だよりなどは、予算的な制約もあると思うが、本日配付された各区のものを見ても、やはりカラフルなものはシンプルなものに比べて手にとりやすいと感じる。
- ・区民会議だよりなど他区のよい部分については、横展開（7区で情報共有）すべきである。
- ・頻度や枚数を減らすなど、回覧のボリュームを少なくすることが必要ではないか。
- ・地元タウン誌（タウンニュースやマイタウンなど）の活用は効果的。タウン誌のような区民の目に触れる形で、情報発信し続けることが大切だと思う。（3件）
- ・地元のタウン誌に枠を設けて記事を随時掲載する。（2件）
- ・所属するNPOではマスメディアに取り上げられることで、認知度が上がった。区民会議もマスメディアをうまく活用した方が良い。
- ・タウンニュースにお願いして記事を書いてもらったことがあるが、メディアへの積極的な働きかけも必要である。
- ・区民会議の様子をインターネットで動画配信する（現在検討中）。
- ・印刷物より、「放置自転車が無くなった」「区の花・木をつくった」といった目に見える成果の方が、区民会議の認知度向上に向けた効果が大きいと思う。
- ・様々な成果に区民会議の名を入れることが大事。
- ・認知度調査の回答を分析した結果、例えば防災の取組など区民の興味や問題意識の高いテーマを設定し、調査審議することが認知度向上につながるものと考えられる。また、区民会議という名称の話もあったが、「区民による区民のための会議」というコンセプトを明確に打ち出すことも大切である。
- ・フォーラムを面白くして多くの区民に傍聴に来てもらいたい。



- ・7区合同でイベントをやってみたらどうか。(例：ウォークラリー)
- ・区民会議という名称がイメージしづらいとの意見もあったが、区民会議フォーラムを実施する際には、ウォークラリーなど遊びの要素も取り入れて実施することが認知度向上につながるのではないかと。
- ・フォーラム等の開催といった区民への働きかけをする場合には、自分たちの意見がきちんと提言に活かされていくということを実感してもらえよう、区民会議の提言をまとめる「前の」段階で区民とのワークショップを開催するなど、区民会議委員や職員はタイミングを意識する必要がある。
- ・区民会議のイベントは単独で開催するよりも、健康診断等の機会を捉えて開催すると、集客効果があるため、認知度向上につながる。
- ・区民会議として地域のイベントに出席し、委員が挨拶してアピールすることも大事。

#### 【地域・市民とのつながり】

- ・市民の多くの方が興味を持つテーマに取り組み、発信することが必要である。(2件)
- ・団体等を活用して地域の情報を収集することが大事。(2件)
- ・上から降りてくる情報ではなく、横から流れてくる情報を区民会議ですくい上げる。「区民会議で相談するから問題を出して」という働きかけを続けることで、区民会議が身近になる。
- ・区内の各団体との関係性についても、区民会議委員として参加している代表者だけでなく、団体同士を横でつなげていくことも重要。
- ・区民を巻き込みながら取組を実施することで認知度向上につながる。区民会議の認知度の向上のために、具体的に事業を実行していくことが重要。(3件)
- ・多くの団体を巻き込んでいく。
- ・地域の女性と連携しながら実践していくことが重要である。そのための効果的な広報を考えていくことも大切である。
- ・町内会や民生委員など従来からある団体だけではなく、子育て世代や転入世帯など新しい層をターゲットに取組を広げていくことが効果的ではないか。例えば、防災マップづくりに子どもたちに参加してもらうなど。
- ・友人・知人に区民会議の取組をことある毎に伝える。その積み重ねで区民会議を身近に感じてもらえる。
- ・身近な問題をやることで成果が上がる。
- ・コミュニティバスなど身近な課題を取り上げればよい。
- ・地元の中学生に役割を持たせると効果が上がる。(2件)
- ・災害時を機会にして子育て世代を中心に地域で連携する意識を高める(震災時には町会加入率が90%まで向上した)。
- ・3期、4期、5期と、取組を継続していくことが認知度の向上につながる。
- ・人と人とのつながりが大切である。区民会議委員の任期が終わっても、OBとして、やり残した課題に継続して取り組めるような仕組みができないか。
- ・区民会議委員、区民会議委員OB、各団体の3者のパートナーシップを継続して拡大していく。こうした絆が認知度の向上につながると思う。

#### 【その他】

- ・「イベントを実施する」「提言をまとめる」ということに囚われすぎずに、話し合うことを

大切にしていけば、少しずつ区民会議も定着していくのではないかと。

- ・区民会議の認知度の向上は重要。公募の応募者が多くて選考が大変だ、というくらいに集まるべきだ。
- ・公募委員を多くすれば認知度が高まる。(2件)
- ・各区别的認知度を継続的に調査していくことで、認知度が上がったところと下がったところが出てくると思うので、上がったところの取組を各区で情報共有すると効果があるのではないかと。

#### 4. その他

- ・区民会議がどういう役割を担っているのかを私自身も委員になるまでわからなかった。(3件)
- ・市民自治とは何かを最初に委員にきちんと伝えるべき。
- ・市長講話のまとめたものが欲しい。実行性を出していきたい。
- ・任期が1期2年間なので、「2年間という短期の中でできること、実現できること」という認識が強かったが、本日の市長講話を聴いて継続課題に取り組む重要性や必要性を認識した。
- ・具体的に事業を実施するとしても、既存の1つの団体では限界がある。参加者を公募することで仲間が増えることもある。
- ・推薦委員の中には町内会・自治会で活動されている方が多く、検討テーマも委員構成に影響を受ける。
- ・外国人は参加したいが、その仕方が分からない。組織がオープンな環境を作ってほしい。
- ・小中学生をターゲットに教育していくことで、大人にも伝えていくことが重要。(3件)
- ・災害の際には、高層マンションに高齢者が残される可能性がある。若者の力が必要。教育が大切だ。
- ・区長推薦の枠をうまく使ったことで、若い人の参加につながった例もある。
- ・区民会議委員に高齢の方が多いのには、ある程度仕方がないこと。運営面でカバーすることもできる。
- ・議論が尽くされていないような感じのまま、次の課題に移ることがある。また、課題調査部会に入っていないと、自分の興味のある課題に取り組むことができない。
- ・全体会はメッセージを出す場、部会は議論をする場である。
- ・全体会では結論だけでなく、なぜそういう結論に達したのかを説明することが重要。
- ・市民アンケート結果などをきちんと調べて審議した方が良い。



7～10名の8つのグループに分かれ、和やかな雰囲気の中で意見交換が行われました。



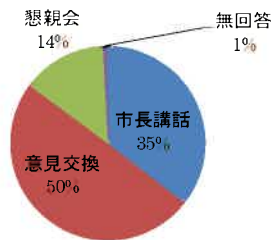
会場には、自治基本条例を紹介するパネルが展示されました。

## 4 アンケート結果

参加者数： 70名  
 回収件数： 69件  
 回収率： 98.5%

### 1. 本交流会は、どの企画に期待して来場されましたか。(複数回答可)

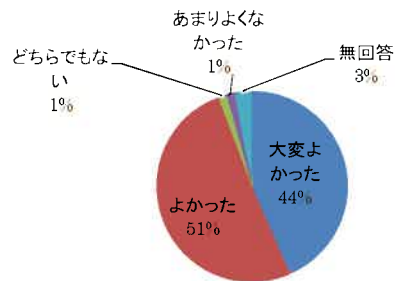
	(件)
市長講話	43
意見交換	60
懇親会	17
無回答	1
計	121



### 2. 区民会議交流会の企画についての感想をお聞かせください。

◆交流会（全体）（今回は交流をメインとした開催でしたが、いかがでしたか）

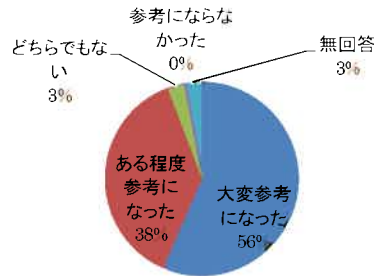
	(件)
大変よかった	30
よかった	35
どちらでもない	1
あまりよくなかった	1
無回答	2
計	69



◆市長講話（区民会議について）

(件)

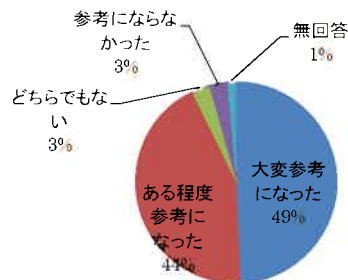
大変参考になった	39
ある程度参考になった	26
どちらでもない	2
参考にならなかった	0
無回答	2
計	69



◆意見交換（区民会議の認知度向上について）

(件)

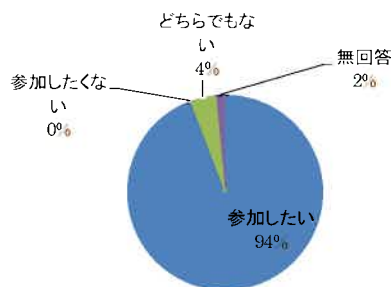
大変参考になった	34
ある程度参考になった	30
どちらでもない	2
参考にならなかった	2
無回答	1
計	69



◆来年以降、同じように意見交換を目的とした交流会が開催されたら参加したいですか。

(件)

参加したい	65
参加したくない	0
どちらでもない	3
無回答	1
計	69

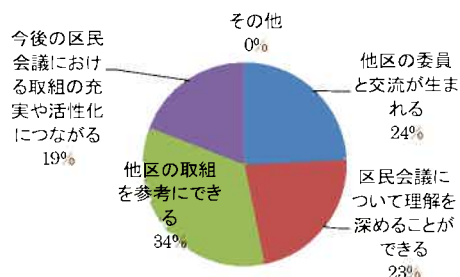




3. 今回の交流会にはどのような効果があると感じますか。(複数回答可)

(件)

他区の委員と交流が生まれる	42
区民会議について理解を深めることができる	39
他区の取組を参考にできる	59
今後の区民会議における取組の充実や活性化につながる	33
その他	0
計	173



4. 御意見・御感想などがございましたら、御自由に御記入ください。

(件)

自由意見	36
------	----

【交流会の内容について】

- ・ 実現に向けて取り組む事が認知度につながると思います。
- ・ 認知度向上の為、活動を地域のコミュニティー紙に載せてもらい少しは認知度が上がった。
- ・ 他区の例が参考となる。実行が肝要。
- ・ 同じような課題が共通理解できました。
- ・ 他の区の区民会議委員と交流をもててよかった。それぞれの動きが良く分かった。(2件)
- ・ 非常に短い時間でしたが他区の委員様より御意見を伺い大変参考になりました。
- ・ 新しい交流会の設定、小グループで具体的に話せてよかった。
- ・ 今後も交流会を行い参考にして会議を進めたい。

【開催時期・場所・時間等について】

- ・ 各団体毎に区民会議の報告をしてもらう。PRはまめにやる。派手でなくてよい。開催時期・場所・時間いずれもよい。
- ・ 意見交換は時間の関係で充分討議できたとはいかなかった。テーマ以外の話が多くなりがちであった。
- ・ 各委員の出身母体で話題が偏る傾向にある。他区の委員の人たちとの交流ができた意味は大きい。
- ・ 時間等丁度良かったと思います。様々な取組みを伺えて良かったです。
- ・ テーマの本題に入る手前で意見交換が終わってしまいました。予め各委員自身のPRを含めて、自己紹介を書式で通知しておくとすぐに本題に入れたかと思います。

- ・ 司会者の問題もあり。
- ・ 意見交換の時間が短いので、十分な話し合いが出来なかった。残念！！（4件）

#### 【来年度以降の開催について意見】

- ・ 全般として良かったと思います。意見交換のテーマはもっと具体的なものが良いと思います。
- ・ 時間が短いと思いましたが、ぜひ今後も続けていただきたいです。ありがとうございました。
- ・ 継続的に更なる時間をとって開催した方がベター
- ・ 交換会の時間が少し少なかった。全体発表も1分ずつでもあるとよかった。時期的には今ごろが重ならない。
- ・ 今後もこのような機会を設けて頂きたいをお願いします。
- ・ 本日のようにお願い申し上げます。
- ・ 良い勉強が出来ました。ありがとうございました。今後もよろしくお願い致します。

#### 【その他】

- ・ 他区の活動内容に関する情報（区民会議ニュースなど）が共有されるよう事務局でご配慮ください。
- ・ 区民会議の位置付けが不明確です。議員の様に、市の名簿に氏名が載るなどしてはいかがでしょうか。
- ・ 市長さんの思いは良く理解でき、納得もできました。今回の交流会をベースに、更に各区の委員が交流し、区民会議の有効化、認知度向上につなげられるよう、交流会を企画・継続していただきたい。認知度向上を話し合う上で、基礎的な情報（かわさき市民アンケート結果など）は事前に共有化しておくのが良いと思う。
- ・ 市長の区民会議のあり方をうかがい、今まで？と思っていたことが理解できよかった。
- ・ 今期より区民会議に参加しています。区民会議の原点の市長講話、大変参考になりました。
- ・ 市長の話しを聞いて思いを改めた。このようなコンセプトを他のメンバーにも伝える必要がある。
- ・ 区によって会議の進行方法が違うのはビックリ（特に中原区）皆さん話し上手。わかりやすかった。
- ・ 自分が区民会議の一人であることと、何か出来そうな意欲がわきました。交流会は大切な時間であると思います。
- ・ 有意義な交流会でした。
- ・ 本日は懇親会へ参加できず残念です。もっと皆さんとお話が出来たかったです。
- ・ ひと言では伝えられない。

## 5 参考資料

「区民会議交流会」の記事が、タウンニュース（中原区版・高津区版・多摩区版）に掲載され、当日の様子が紹介されました。



※中原区版（2月22日号）  
タウンニュースホームページ  
から抜粋  
※高津区版・多摩区版は、3月  
1日号に掲載されました。

### 7区の区民会議が交流

認知度向上を目的に

2013年2月22日号



各グループで意見を交換する

市内7区の区民会議委員約70人による「区民会議交流会」が2月14日、中原区役所で開催された。各区の委員が一堂に介するのは初めて。阿部孝夫市長や各区の区長らも参加し、区民会議の認知度向上をテーマに意見交換を行った。

川崎市の区民会議は、暮らしやすい地域社会をつくることを目的に、区民が行政と協働し地域社会の課題解決を図るための調査審議をするもので、2006年4月に設置された。各区およそ20人の委員で構成され、2年に一度メンバーを入れ替えながら、介護や子育て、農産物、地域交流など各区の課題解決に向けて話し合ってきた。

今回、区民会議の認知度向上をテーマにしたのには、4期目に入ったものの、昨年の市民アンケートでは「認知度およそ20%」という結果がでたことがきっかけ。

まちづくりを行っていくうえで今後重要になっていく区民会議の認知度を高めて、より多くの市民に関心を深めてもらうことが狙いだ。

市は暮らしやすい地域社会を築くためのキーワードを「地方分権」としており、その補完的な機能を持つ区民会議を市民により知ってもらいたいと考え、各区で取り組んでいる情報発信やPR方法などの実例を出しながら、より確実に広く周知する方法を話し合った。

交流会では「人が集まる大きなイベントで活動を周知する必要がある」や「スムーズに確実に活動を周知するため、各委員が所属するそれぞれの活動団体に広めてもらうことが大事」といった意見がでていた。川崎市では「区民会議は一部の人や団体が活動しているというイメージではなく市民の皆が活動できるということを知ってもらいたい。市民に認知してもらうことでこの取り組みが活性化する」と話す。

また、阿部孝夫市長は、人口減少、高齢化に向けた予算縮小を見込んだ行政改革に触れ「右肩上がりの経済成長が見込めない中、地域の課題には市民の皆様が自分たちで取り組んでいくことが重要になる」と話した。

## 区民会議交流会次第

平成25年2月14日（木）  
18時00分～19時30分  
中原区役所5階会議室

- 1 開会の挨拶
  
- 2 市長講話  
～区民会議について～
  
- 3 7区委員の交流  
～区民会議の認知度向上について～
  
- 4 閉会の挨拶

区民会議交流会参加者名簿

グループ	席	区名	氏名	選出区分	推薦団体等	役職	懇親会出欠
1	1	川崎	寺尾 宇一 てらお うちいち	団体推薦	川崎商工会議所	委員長	○
	2	幸	酒井 清 さかい きよし	団体推薦	幸区文化協会		○
	3	中原	板倉 徹 いたくら とおる	団体推薦	中原区まちづくり推進委員会	副委員長	○
	4	中原	成田 孝子 なりた たかこ	団体推薦	中原区子育てネットワーク		○
	5	中原	橋本 貞子 はしもと さだこ	区長推薦	中原区町内会婦人部連絡協議会		○
	6	高津	林 孝行 はやし たかゆき	団体推薦	高津区全町内会連合会		○
	7	宮前	宮崎 孝 みやざき たかし	団体推薦	宮前区商店街連合会	副委員長	○
	8	多摩	安倍 修司 あべ しゅうじ	団体推薦	多摩区商店街連合会		○
	9	麻生	山田 安之 やまだ やすゆき	団体推薦	地域教育会議	若者 副部長	○
	10	麻生	高橋 庸之 たかはし つねゆき	公募	-		○
2	1	川崎	新井 トキ子 あらい ときこ	団体推薦	川崎区安全・安心まちづくり推進協議会	副委員長	○
	2	川崎	岩瀬 絹代 いわせ きぬよ	公募	-		○
	3	幸	鈴木 忠夫 すずき ただお	団体推薦	日吉商店街連合会		○
	4	中原	富岡 茂太郎 とみおか しげたろう	団体推薦	中原区民生委員児童委員協議会	副委員長	○
	5	中原	橋本 満昭 はしもと みつあき	団体推薦	中原区市民健康の森を育てる会		○
	6	高津	森 幸男 もり ゆきお	団体推薦	高津区全町内会連合会		○
	7	宮前	大槻 幹雄 おおつき かんゆう	団体推薦	宮前区地域教育会議	部長	×
	8	多摩	国保 久光 くにほ ひさみつ	団体推薦	川崎市医師会多摩区医師会		×
	9	麻生	菅原 敬 すがわら けい	区長推薦	-	委員長	○

区民会議交流会参加者名簿

グループ	席	区名	氏名	選出区分	推薦団体等	役職	懇親会出欠
3	1	川崎	いしわた かつらう 石渡 勝朗	団体推薦	川崎区保護司会	部長	○
	2	幸	すずき なみえ 鈴木 奈美枝	団体推薦	幸区保護司会		○
	3	幸	すずき みやこ 鈴木 都	公募	市民公募		○
	4	中原	あおき ひでみつ 青木 英光	団体推薦	川崎市中原区社会福祉協議会		○
	5	中原	ふししま とみ子 藤嶋 とみ子	団体推薦	中原区文化協会		○
	6	高津	さとう ただし 佐藤 忠	区長推薦	-	委員長	○
	7	宮前	ささき りょうじ 佐々木 良司	公募	-	部長	○
	8	多摩	こづか ちづ子 小塚 千津子	団体推薦	多摩区こども総合支援連携会議		○
	9	麻生	いしい いくろう 石井 郁朗	区長推薦	-	副委員長 若者部長	○
4	1	川崎	こいずみ ただゆき 小泉 忠之	団体推薦	川崎区民生委員児童委員協議会		○
	2	幸	にし の きょういち 西野 恭一	団体推薦	幸区町内会連合会	委員長	○
	3	中原	いしい やすあき 石井 康昭	団体推薦	中原区町内会連絡協議会		○
	4	中原	つかもと りり 塚本 りり	公募	-		○
	5	高津	あした ゆたか 岩田 豊	団体推薦	高津区全町内会連合会	副委員長	○
	6	宮前	ひらい けい子 平井 賢子	団体推薦	宮前区安全・安心まちづくり推進協議会		○
	7	多摩	はいじま ゆみ 配島 裕美	団体推薦	多摩区地域教育会議		x
	8	多摩	ほんだ まきのり 本多 正典	公募	-		x
	9	麻生	かわみつ ひでなお 金光 秀尚	区長推薦	-	企画 部長	○

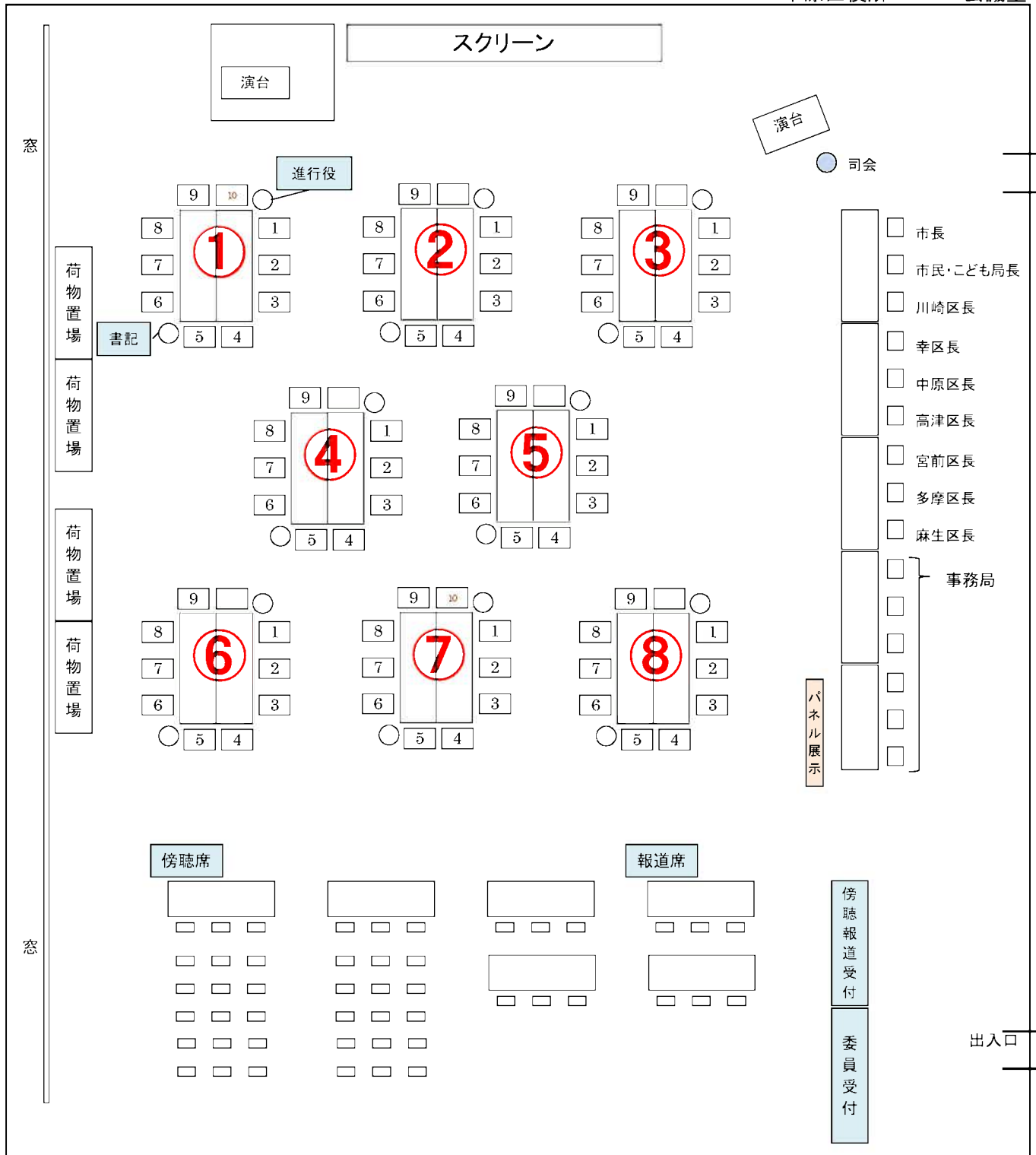
区民会議交流会参加者名簿

グループ	席	区名	氏名	選出区分	推薦団体等	役職	懇親会出欠
5	1	川崎	高橋 義光 たかはし よしみつ たかはし ぎこう	区長推薦	-		○
	2	幸	神谷 厚子 かみや あつこ	団体推薦	幸区子ども連合会	副委員長	○
	3	中原	伊藤 久 いとう ひさし	団体推薦	川崎中原工場協会		○
	4	中原	中森ジュリアみどり なかもり なかもり	公募	-		○
	5	高津	金 俊一郎 こん しゅんいちろう	団体推薦	高津区地域教育会議	副委員長	○
	6	宮前	大村 康平 おおむら こうへい	団体推薦	宮前区社会福祉協議会		○
	7	宮前	山下 浩 やました ひろし	区長推薦	第3期区民会議 委員長		○
	8	多摩	荒井 精一 あらい せいいち	公募	-	部長	×
	9	麻生	高倉 秀敏 たかくら ひでとし	公募	-	安全安心 副部長	○
6	1	川崎	藤岡 玲子 ふじおか れいこ	団体推薦	川崎区市民健康の森海風の森をMAZUつくる会		○
	2	幸	押山 兼二 おしやま かねつぐ	団体推薦	幸区交通安全対策協議会	部長	○
	3	幸	春田 公江 はるた きみえ	公募	市民公募		○
	4	中原	梅原 英毅 うめはら ひでき	団体推薦	ボーイ&ガールスカウト中原区協議会		○
	5	中原	中山 博夫 なかやま ひろお	公募	-		○
	6	高津	大内 久美子 おおうち くみこ	団体推薦	高津区子ども・子育てネットワーク会議	書記	×
	7	宮前	福田 美豆 ふくだ みま	団体推薦	宮前区老人クラブ連合会		○
	8	多摩	辻野 勝行 つじの かつゆき	公募	-	部長	○
	9	麻生	東川 禎男 ひがしかわ まさお	公募	-	副委員長	○

区民会議交流会参加者名簿

グループ	席	区名	氏名	選出区分	推薦団体等	役職	懇親会出欠
7	1	川崎	よねやま 実 米山 実	団体推薦	川崎区文化協会		○
	2	幸	ば 古場 とみみつ 敏光	団体推薦	幸区まちづくり推進委員会	部長	○
	3	中原	おぎ 尾木 まごきさくろう 孫三郎	団体推薦	中原区自主防災組織連絡協議会		○
	4	中原	おかもと 岡本 はるに 治子	区長推薦	中原区食生活改善推進員連絡協議会		○
	5	中原	ただの 但野 あやこ 文子	団体推薦	中原区PTA協議会		×
	6	高津	いなか 伊中 えつこ 悦子	団体推薦	「エコシテイたかつ」推進会議		×
	7	宮前	なおもと 直本 たかこ 享子	区長推薦	第3期区民会議 副委員長	委員長	○
	8	多摩	ふじわら 藤原 つかさ 司	区長推薦	-		○
	9	多摩	ほその 細埜 たかみ 隆己	団体推薦	登戸土地区画整理事業まちづくり推進協議会	副会長	×
	10	麻生	すぐり 村主 ひであき 英明	公募	-	安全安心 部会長	○
8	1	川崎	あらい 新井 かずなり 一成	公募	-		○
	2	幸	こんどう 近藤 たえ 多恵	団体推薦	日吉のわっ実行委員会		○
	3	中原	かわつれ 川連 まさひさ 昌久	団体推薦	中原区商店街連合会	委員長	○
	4	中原	そりまち 反町 みつひろ 充宏	区長推薦	NPO法人カワサキミュージックキャスト		○
	5	高津	かわべ 川邊 よひる 善裕	団体推薦	高津青年会議		○
	6	宮前	くさわ 黒沢 かずゆき 一之	区長推薦	宮前区全町内・自治会連合会 顧問	副委員長	○
	7	多摩	とだか 戸高 じん 仁子	団体推薦	かわさきかえるプロジェクト	副委員長	×
	8	麻生	まがの 菅野 あきら 明	団体推薦	麻生区文化協会		○
	9	麻生	たなか 田中 けんすけ 元介	公募	-	企画 副部長	○





# 区民会議について

平成25年2月14日  
川崎市長 阿部 孝夫

---

---

---

---

---

---

---

---

## 本日も話すること

- 1 区民会議の目的
- 2 区民会議設置の背景
- 3 これまでの区民会議を振り返って
- 4 地方分権改革とこれからの区役所
- 5 地方分権改革における区民会議の役割
- 6 区民会議委員の皆様への期待

---

---

---

---

---

---

---

---

## 区民会議の目的

**区民の参加と協働による区における地域社会の課題解決に向けた調査審議を行い、もって暮らしやすい地域社会の形成に資すること**  
(区民会議条例第1条)

<市政運営の3本柱>

- 行財政改革の取組
- 総合計画の着実な推進
- 自治基本条例に基づく市民本位のまちづくり

→ 市民の暮らしやすい地域社会を突現していくためには、自助・共助・公助の適切な役割分担のもと、市民自治に基づくまちづくりを進めていくことが必要。

それぞれの区に区民によって構成される会議(「区民会議」)を設け、参加及び協働による区における課題の解決を目的として調査審議します。  
(自治基本条例第22条)

---

---

---

---

---

---

---

---

## 区民会議設置の背景

### 経過

- 平成16年12月  
「川崎市基本構想」「自治基本条例」制定
- 平成17年4月  
「自治基本条例」施行、**区民会議の試行**
- 平成18年4月  
**「区民会議条例」施行**  
**各区で定める運営要綱の制定**  
**「区民会議」の設置・運営**

4

---

---

---

---

---

---

---

---

## これまでの区民会議を振り返って

時期	主な審議課題
第1期 (平成18～19年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●地域で取り組む環境対策</li> <li>●高齢者福祉・健康づくり</li> <li>●こどもの外遊び</li> <li>●地元農産物と地域の交流 など</li> </ul>
第2期 (平成20～21年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●地球環境とエコ</li> <li>●自転車通行のマナー向上</li> <li>●地域防災とコミュニティ</li> <li>●公園を活用した地域コミュニティの活性化 など</li> </ul>
第3期 (平成22～23年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●公園を活用したコミュニティづくり</li> <li>●地域における子育て応援体制づくり</li> <li>●循環型のまち・生ごみリサイクル など</li> </ul>

5

---

---

---

---

---

---

---

---

## 区民会議の課題①

### □ 区民会議の認知度を向上させること

- ただ区民会議の名前を知ってもらただけでなく、調査審議の内容も知らなければならぬ
- 知ってもらった後、活動に協力してもらうことができるか



### ★大事なことは・・・

- 市民参加の基本は「情報共有」。より多くの人に区民会議を覚えてもらうこと
- 地道な広報活動を継続することにより、取組を地域に浸透させ、取組の担い手を増やすこと

6

---

---

---

---

---

---

---

---

## 区民会議の課題②

### ▮ 区民会議から提案された取組に実効性をもたせること

- ただ審議して、課題解決策を提案するだけでは、地域主体の取組にはつながらない
- 既存の地域団体の理解・協力を得ることができるか



★大事なことは・・・

- ▮常に担い手を意識しながら審議すること
- ▮担い手になりうる団体を巻き込みながら審議し、地域主体の取組につなげること

---

---

---

---

---

---

---

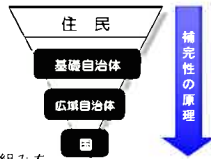
---

## 地方分権改革とこれからの区役所①

### 地方分権の基本となる考え方

補完性の原理に則り、住民に身近な行政サービス（公共）は、住民に最も身近な基礎自治体がまずは担うことが必要

地域の実情を最も把握している基礎自治体は、地域の課題を的確に捉え、施策に反映するとともに、効果的・効率的に解決することなどが可能



基礎自治体の自主性・自立性を高め、分権型の仕組みを構築することが重要

- 基礎自治体への事務権限の移譲
- 義務付け・枠付けの廃止・縮小
- 税源の移譲（担う役割に見合う財源の確保）

---

---

---

---

---

---

---

---

## 地方分権改革とこれからの区役所②

●行政区の特性を最大限に生かし、住民自治の充実を図る。

●市民に最も身近な区役所は、利便性の高い快適な窓口サービスの提供に加え、**地域の課題を自ら発見し解決できる市民協働の拠点**として総合的な行政機関の役割を担う。

### ① 区民会議の運営

●各區において調査審議を実施



### ② 協働事業・市民活動支援

- 協働型事業のルール（6つの原則）
- 各區での市民協働型事業の推進
- 市民活動の場の提供、資金の確保 など

### ③ 区役所の機能強化

- 区長権限の強化
- 地域の課題に対応するための予算（協議課題対応事業費）
- 総合的なことも支援拠点として整備
- 区役所道路公設センターの改善 など

---

---

---

---

---

---

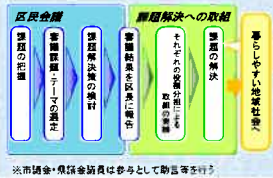
---

---

## 地方分権改革における区民会議の役割

- 地方分権改革の進展により、区役所が果たすべき役割はさらに重要に。
- 区民会議は、区における「市民本位のまちづくり」の中核的仕組みとして、**区民の参加・協働による地域社会の課題解決に向け、調査・審議を行うこと**を期待されている。

<区民会議を通じた区の課題解決のイメージ>



- まちづくりの担い手として、日常的に地域の課題解決に取り組んでいる市民の力が必要
- 課題解決に向けた取組を市民の力で地域に浸透させ、根付かせることを期待
- 区長権限のもと、地域の課題に対応するための予算（地域課題対応事業費 5,500万円）を活用し、各区における地域の実情に応じた事業を展開

※市議会・見学会議員は委員として助言等を行う

10

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

## 区民会議委員の皆様に期待すること

～暮らしやすい地域社会の実現に向けて～  
地域で果たす区民会議の役割は、一歩前進した段階へ



### ★区民会議委員として…

小さな取組の輪を広げて大きな取組の輪に。市全体の課題の解決へ。

- 区民会議で提案された取組を地域に持ち帰り、実践活動につなげ、地域に根付かせること
- ひとりひとりが区民会議の広報マン。より多くの市民に区民会議を知ってもらうため、工夫しながら地道な広報活動を続けること

11

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

御清聴ありがとうございました。




---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

各区区民会議における認知度向上の取組状況一覧

区	情報発信の手法	地域に開かれた区民会議とするための取組
川崎区	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市政だより</li> <li>・ホームページ</li> <li>・区民会議だより(22年度から町内会・自治会への回覧を実施)</li> <li>・区民会議を特集した市政だより区版特別号(平成23年4月1日発行)を、全世帯(10万世帯)に戸別配布</li> <li>・区民会議フォーラムの開催</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・区民会議フォーラムの開催</li> <li>・地域課題とその解決策の提案を区民から募集する「区民ポスト」を区役所、支所、行政サービスコーナーに設置</li> <li>・区民アンケートの実施</li> </ul>
幸区	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市政だより</li> <li>・ホームページ</li> <li>・区民会議だより(区内公共施設にて配布)</li> <li>・さいわい広報特別号(平成20年3月発行、平成21年3月発行、平成22年3月発行)</li> <li>・区民会議フォーラムの開催(フォーラムの様子はホームページ上で動画でも発信)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・区民会議フォーラムの開催</li> <li>・幸区区民アンケートを実施して区民会議に関する質問を設定</li> </ul>
中原区	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市政だより</li> <li>・ホームページ</li> <li>・区民会議だより(年3回発行、町内会・自治会で回覧)</li> <li>・区民会議報告書概要版(町内会・自治会で回覧)</li> <li>・区民会議市民報告会の開催</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・区民会議市民報告会の開催</li> <li>・区民会議審議結果を踏まえた提案型事業の実施</li> <li>・委員自ら区民を対象としたアンケート調査を実施</li> <li>・区内関係団体への審議内容の報告</li> </ul>
高津区	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市政だより</li> <li>・ホームページ</li> <li>・たかつ区民会議ニュース(町内会・自治会で回覧)</li> <li>・区民会議フォーラムの開催</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・区民会議フォーラムの開催</li> <li>・区民ニーズ調査の実施</li> <li>・区役所窓口への提案箱の設置やホームページを利用した意見募集(常時)</li> <li>・地元町内会などとの合同による現地調査の実施</li> </ul>
宮前区	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市政だより</li> <li>・ホームページ</li> <li>・区民会議だより(年2回発行、町内会・自治会で回覧)</li> <li>・マスコミへの情報提供(平成24年度2度掲載)</li> <li>・区民会議フォーラムの開催</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・区民会議フォーラムをウォークラリー形式で開催予定</li> <li>・会議の傍聴者にアンケートを配布</li> <li>・区民会議だよりの紙上で意見募集</li> </ul>
多摩区	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市政だより</li> <li>・ホームページ</li> <li>・区民会議ニュース(町内会・自治会で回覧)</li> <li>・区民会議フォーラムの開催</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・区民会議フォーラムの開催</li> <li>・ホームページでの意見募集</li> </ul>
麻生区	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市政だより</li> <li>・ホームページ</li> <li>・区民会議ニュースの発行(町内会・自治会で回覧)</li> <li>・区民会議フォーラムの開催</li> <li>・地域メディアへの協力要請(24年11月に企画部会委員が区内主要メディア3社を訪問し、広報への協力を要請)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・区民会議フォーラムの開催</li> <li>・会議の傍聴者にアンケートを配布</li> <li>・区民会議への提案箱を区役所ロビーに設置</li> <li>・ホームページでの意見募集</li> <li>・区民会議ニュースでの意見募集</li> </ul>
備考	<p>(市として)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・区民会議の概要を分かりやすく記載したパンフレットを作成し、各区役所、市民館、図書館等で配架するとともに、タウンミーティング(平成22年度)、成人の日を祝うつどい(平成23年度)等で配付</li> <li>・区民会議をPRする動画を作成し、JR川崎駅アゼリアビジョンをはじめ、様々な機会を捉えて放映</li> </ul>	

第4期各区区民会議 調査審議の状況

参考資料

(平成25年2月1日現在)

項目	部会名	審議テーマ	分野	テーマ(課題)の概要	新規・継続	調査審議の状況	課題解決に向けた方向性
川崎区	みんなのまちづくり部会	地域で身近な防災力(歴史、環境から学ぶ)	防災・地域交通	災害時に安全に避難できるよう、川崎区の歴史や環境の視点から防災について、審議調査していく。	新規	○区役所危機管理担当へのヒアリングを実施 ○臨海部の防災対策の現状を把握するため、東扇島にある基幹的広域防災拠点や市巡視船から臨海部の工場地帯を視察 ○海抜表示、避難所の位置表示や津波の時の避難場所について検討 ○第3期で実施した「コミュニティバス」に関するアンケート結果を分析 ○地域交通導入までの取組手順を調査	○海抜表示、避難場所への誘導表示、津波時の避難場所について検討
	すこやか・共に生きる部会	子ども地域で支える、子どもの生きる力	子育て	子育てや子どもが育つ環境づくりのため、子育て支援、地域での子育ての場づくり、子どもの生きる力をどう育んでいくか、調査審議していく。	継続	○小・中学生の保護者向け予防接種に関するアンケートの調査概要を検討	○予防接種に関するアンケート内容の検討 ○アンケート結果を基にした予防接種の接種率向上の手法の検討
		外国人市民も住みやすいまちづくり	外国人市民	外国人市民へ十分な情報が行き届く仕組みについて調査審議していく。	新規	○外国人市民へ情報提供する区役所窓口の職員への調査を検討	○引き続き、他都市の子ども支援策の先進事例を調査 ○子どもを地域で支える活動団体同士の情報の共有や連携の検討 ○外国人市民に健康や防災等の情報を効果的に伝える手法の検討
幸区	暮らしの安全部会	防災	安全・安心まちづくり	中学校区レベルでの地域防災力の向上について審議していく。	新規	○防災に関する各委員の意見を整理 ○区役所危機管理担当へのヒアリングを実施 ○取組の方向性としては「自助に関する取組」「エリア別の防災マップの作成」「防災訓練への中学生の参加」の3点があがり、現在、「(仮称)マイ防災マップ」づくりについて審議中 ○幸消防署が実施する区内中学校での災害図上訓練(DIG)を視察予定	中学校と連携した「(仮称)マイ防災マップ」づくりを検討していく。
		自転車	安全・安心まちづくり	自転車マナーの向上について審議していく。	継続	防災に関する調査審議が一定程度まとまった後に行っていく。	
	みんなで見守りたい	地域の見守り体制づくり	高齢者・地域コミュニティ	誰もが安心して住み続けられる地域社会の実現に向け、孤独死・孤立死などを防ぎ、地域全体で見守る体制づくりを推進していくための方策等を審議していく。	新規	○審議テーマを選定するにあたり、委員意見を項目ごとに整理し、選定基準を設け投票を実施 ○最も意見が多かった「高齢者の見守り」について、区高齢者支援課と地域保健福祉課にヒアリングを実施 ○審議テーマを「地域の見守り体制づくり」とし、具体的な取組を検討するにあたって、区内における主な見守りの取組を整理し、実態を把握するため関係団体にヒアリング調査を実施	区内の主な見守り活動の実態について、各団体にヒアリング調査を実施し、課題の把握を行い、対応を検討していく。
中原区	課題調査部会	絆を深めて支え合う防災体制づくり	安全・安心まちづくり	新旧住民や多世代住民の交流を図り、住民間の結びつきを強めながら、地域の防災力向上を目指す。	新規	○取組の方向性として、「個人を対象とした啓発活動や情報提供」、「家庭内での自助の普及に向けた取組」、「地域における防災訓練の実施と地域内の人材育成」、「自主防災組織、避難所運営会議などの活動の充実」、「大型集合住宅における防災対策」を挙げた。 ○重点を置く取組として、「地域特性を踏まえた防災イベントを行う」、「活発な活動をしている自主防災組織をもっと広める」、「防災情報をもっと区民に伝える」の3点を定めた。 ○課題解決に向けた取組事項を決定した。	○区役所内に防災情報コーナーを設置 ○駐入者に対する情報伝達 ○防災イベントの実施 ○大型マンションの自主防災組織結成推進 ○外国人市民の防災への理解向上
	課題調査部会	(仮称)子育て支援	子育て	中原区の特徴である住民の平均年齢が低く、子どもが多いことを踏まえた子育て支援策を審議する。	新規	3月19日の全体会議で初の審議を行う。	未定



第4期各区区民会議 調査審議の状況

(平成25年2月1日現在)

項目	部会名	審議テーマ	分野	テーマ(課題)の概要	新規・継続	調査審議の状況	課題解決に向けた方向性
高津区	企画運営会議	地域防災	安全・安心まちづくり	第2期区民会議における取組や提言を踏まえ、地域防災に関する調査審議を行い、具体的な取組につなげていく。	継続	○全体会議や企画運営会議において第4期のテーマを決定、今後は具体的な取組について検討していく。 ○2月19日に区内の防災備蓄倉庫の実地調査を行う予定	○第2期で作成した「防災マップ」の改訂 ○区民会議の取組をアピールすると同時に防災についての啓発を行うパンフレットの作成
	環境を活かした人づくり部会	環境・スポーツ	地域コミュニティ	花や緑・公園・健康づくりなど身近な環境を通して地域に目を向けてもらい、それに関わる人づくりを進める。	新規	○10月・11月に区内で緑に関する活動が行われている現場へ行き、活動されているかたからお話をいただいた。 ○区内の緑関係の場所を大きな地図に落とし、視覚的に情報を共有 ○今後具体的な提案を検討	○公園・街路樹等を活用した地域主体の取組など、今後具体的な検討を進める
宮前区	仮称)地域・世代間交流部会	地域・世代間交流	地域コミュニティ	世代間の交流を促進することで地域のつながりを活発に	新規	○区内全17小学校にアンケートを実施。授業や課外活動、学校開放、行事等で地域と学校がどのようなつながりをもっているか調査 ○今後具体的な提案を検討	○学校支援センターの利用促進 ○町内会・自治会の組織強化方法 ○地域と学校の連携促進 ○今後具体的な検討を進める
	自然災害部会	いざという時に助け合える体制づくり	安全・安心まちづくり	多摩区の安全・安心なまちづくりのため自然災害対策について審議していく。	新規	○自然災害に関する具体的な対策、地域の取組等について意見交換 ○防災に関する市の取組、自主防災組織等の地域の取組について勉強会を開催 ○課題解決に向けた方向性、具体的な取組の検討に向けて、現状と課題について再確認、検討	○自然災害への備えとして、「自助」「共助」「公助」を整理し、いざという時に助け合える体制づくりについて検討していく。
多摩区	コミュニティ部会	人とのつながりを深める方策づくり	地域コミュニティ	色々な世代が交流し、コミュニティが活性化していくためにはどうしたらよいか審議していく。	新規	○コミュニティをめぐる各委員の課題認識、具体的な対策等について意見交換 ○地域のつながりの場として、こども文化センターを現地調査 ○課題解決に向けた方向性、具体的な取組の検討に向けて、現状と課題について再確認、検討	○コミュニティの活性化に向けて、地域活動に参加してもらったための仕掛け等について整理し、検討していく。
	安全・安心のまちづくり部会	大地震から助かる命を守る	安全・安心まちづくり	公助が立ち上がるまで、自助・共助により助かる命を守ることが重要であり、「防災」のつち、事前対策と緊急避難に関する部分から調査審議を進める。	新規	○「優先テーマ」1. 家屋の倒壊防止 2. 家具の転倒防止 3. 火災予防・火事発生への対応 ○「優先テーマ」4. 災害時要援護者等への対応 5. 負傷者、生き埋め者の救助	○課題解決のためのモデル事業の実施 ○PRイベントの実施 ○ワークショップの開催 など
麻生区	若者が住みたくなくなる魅力あるまちづくり部会	子育てしやすい環境づくり	子育て・若い世代	将来加速する高齢化、若者の減少を背景に、「若者が住みたくなくなる魅力あるまちづくり」を必要と捉え、「子育てしやすい環境づくり」と「芸術・文化のまちづくり」の2つのテーマについて審議を進める。	新規	既往調査・統計データによる「しんゆり」芸術のまちに関する現状と課題を把握・分析するとともに、第3期区民会議からの提言内容をどのようにフォローアップしていくか、あるいは第4期の「若者が住みたくなくなる魅力あるまちづくり」と「芸術・文化のまちづくり」をどう絡めていくか、を検討中である。	○アンケートの多角的な分析に伴う具体的な課題の絞り込みとその解決策の審議 ○追加調査(ヒアリング、ワークショップなど)の実施を検討
		芸術・文化のまちづくり	文化		継続	既往調査・統計データによる「しんゆり」芸術のまちに関する現状と課題を把握・分析するとともに、第3期区民会議からの提言内容をどのようにフォローアップしていくか、あるいは第4期の「若者が住みたくなくなる魅力あるまちづくり」と「芸術・文化のまちづくり」をどう絡めていくか、を検討中である。	○第3期区民会議からの提言内容を受けた行政の取組状況について聴取 ○文化施設や文化活動団体への追加ヒアリング実施の検討 ○「若者」と「芸術・文化のまちづくり」をマッチングする他都市事例等の調査を進める。



# 平成24年度区民会議交流会アンケート

本日は区民会議交流会に御出席いただきまして、ありがとうございました。

今後の参考にいたしますので、以下の項目についてお答えくださいますようお願い申し上げます。

1. 本交流会は、どの企画に期待して来場されましたか。(複数回答可)

市長講話      意見交換      懇親会

2. 区民会議交流会の企画についての感想をお聞かせください。

◆交流会（全体）（今回は交流をメインとした開催でしたが、いかがでしたか）

大変よかった      よかった      どちらでもない      あまりよくなかった

◆市長講話（区民会議について）

大変参考になった      ある程度参考になった      どちらでもない      参考にならなかった

◆意見交換（区民会議の認知度向上について）

大変参考になった      ある程度参考になった      どちらでもない      参考にならなかった

◆来年以降、同じように意見交換を目的とした交流会が開催されたら参加したいですか。

参加したい      参加したくない      どちらでもない

3. 今回の交流会にはどのような効果があると感じますか。(複数回答可)

他区の委員と交流が生まれる

区民会議について理解を深めることができる

他区の取組を参考にできる

今後の区民会議における取組の充実や活性化につながる

その他（

）

4. 御意見・御感想などがございましたら、御自由に御記入ください。

来年度以降の開催について／意見交換のテーマについて／開催時期・場所・時間 など

御協力ありがとうございました。この用紙を机の上に置いてお帰りくださいますようお願いいたします。